

令和2(2020)年度事業報告

I 観光及び物産振興事業の企画・実施及び支援事業

1 受入体制整備事業

(1) 表彰事業

本県の観光振興・物産振興に功績があった者・施設等を、当協会総会において表彰した。

- ・ 観光及び物産事業功労者 3名
- ・ 観光及び物産事業功労施設等 2施設

また、本県観光事業の振興に特に貢献された者を、(公社)日本観光振興協会関東支部長に推薦し、表彰された。

- ・ 新井 俊一 氏 (公益社団法人栃木県観光物産協会会長、元 一般社団法人日光市観光協会会長)

(2) 催物等助成事業

国や県をはじめ、県内市町や各地区観光協会等主催の各種イベントを後援するなど、支援を行った。

- ・ 後援件数6件

(3) 県域版DMO形成促進事業(県補助事業)

- ・ 令和2(2020)年1月14日、とちぎDMO(当協会)が「日本版DMO(観光地域づくり法人)」に正式登録されたことから、国・県・地域と連携し協議会形式で運営した。
- ・ 当協会にマネジメント等の専任職員と外部専門家によるアドバイザー体制を確立し、観光に係る多様な関係者による「とちぎ観光地づくり委員会」を7回開催した。

第1回 令和2(2020)年6月5日 県庁本館8階 会議室4

第2回 令和2(2020)年7月27日 県庁東館4階 講堂

第3回 令和2(2020)年8月24日 県庁昭和館 多目的室3

第4回 令和2(2020)年10月7日 県庁研修館3階 302研修室

第5回 令和2(2020)年11月16日 栃木県総合文化センター 第3会議室

第6回 令和3(2021)年2月17日 栃木県自治会館3階 303会議室

第7回 令和3(2021)年3月26日 県庁本館5階 保健福祉部会議室2

(4) 地域連携観光地づくり支援事業(県補助事業)(新規)

令和元(2019)年度、国が実施した那須ネイチャープログラム造成事業等を発展的に継続し、那須地域及び他地域における観光地づくりの組織化及び事業実施を支援した。

ア 協議会の開催

第1回 令和2(2020)年9月17日 那須高原ビジターセンター会議室

第2回 令和3(2021)年3月23日 那須町立高原公民館 ホール

イ 那須ネイチャープログラム(那須高原e-bike & ハイキングツアー) 招聘事業の実施

実施期間：令和2(2020)年10月28日～29日

場 所：サイクリングガイドツアー（ライドエクスペリエンス）、仏式茶寮カミノ、
奥那須自然休養林、沼ッ原湿原、ニューおおたか（宿泊）、那須ロープウェ
イ、茶臼岳（ハイキング）

ウ 那須ネイチャープログラム特集ホームページの作成

エ コンテンツ販売促進用パンフレット（日本語版・英語版）の作成

作成部数：日本語版3,000部、英語版3,000部

(5) 外国人観光客受入体制整備事業（県委託事業）（新規）

平成27(2015)年に県が策定した「世界に通用する魅力ある観光地づくりプログラム」を
基に、県内の観光・物産事業者や宿泊施設等の調査を行うとともに、今後の外国人観光客
の受入体制整備のための施策に繋げる分析を行った。

(6) 観光業経営者対象セミナー開催事業（県委託事業）（新規）

観光業の業務の効率化や経営力の強化のための担い手育成を支援し、宿泊施設や観光施設
等におけるIT活用や新型コロナウイルス感染症対策等に向けたセミナーを4回開催した。

ア 第1回

開催日時：令和2(2020)年7月15日

開催場所：日光田母沢御用邸記念公園 本邸研修ホール

演 題：伝統の中にも革新を 数年先の旅館経営を考える
～旅行の価値を高めるWebサイトの活かし方～

講 師：株式会社micado 代表取締役社長 田代 貴彦 氏

参加者数：34名

イ 第2回

開催日時：令和2(2020)年7月17日

開催場所：栃木県庁6階 大会議室1

演 題：栃木県観光事業者に対する新型コロナウイルス対策のための除菌作業セミナー

講 師：株式会社エヅリン 代表取締役 江連 秀夫 氏

参加者数：38名

ウ 第3回

開催日時：令和2(2020)年11月16日

開催場所：栃木県総合文化センター 第3会議室

演 題：栃木県観光事業者に対するSDGsセミナー
～SDGsを利用・・・活用するための第一歩！～

講 師：国立大学法人 宇都宮大学 国際学部 助教(国際法・国際人権論) 藤井 広重 氏

参加者数：26名

エ 第4回

開催日時：令和3(2021)年2月17日

開催場所：栃木県自治会館3階 303会議室

演 題：100年後も雪国であるために～雪国観光圏が進めた観光による地域づくり～
講 師：株式会社いせん代表取締役／一般社団法人雪国観光圏代表理事 井口 智裕 氏
参加者数：23名

(7) おもてなしいちご隊管理運営事業（県委託事業）

県民一人ひとりが本県を訪れた方々への感謝の気持ちや思いやりを「おもてなし」として形に表すため、県内の企業、団体、個人等を「おもてなしいちご隊」として募集し登録を行い、「おもてなし」を実践することで、本県への更なる誘客促進を図った。

登録者には、登録証及び「おもてなしいちご隊缶バッジ」等を交付した。

- ・ 募集期間 平成29(2017)年8月1日～令和5(2023)年3月31日

※ 令和3(2021)年3月31日現在

- ・ 登録件数 延べ 1,397件
- ・ 登録人数 延べ 46,930人

(8) 三密回避旅行商品開発支援事業（県委託事業）

新型コロナウイルス感染症拡大により生じた観光旅行への不安を解消するため、安全・安心かつ魅力的な旅行商品の造成が求められることから、DMOや観光協会、地域事業者が連携し、観光業や衛生管理に関する専門的な知識を有する専門家からアドバイス等を得ながら、徹底した感染防止対策を講じた旅行商品（周遊クーポン等）の開発を支援し、地域が主体となった旅行商品づくりを促進した。

- ・ 実施期間 令和2(2020)年6月26日～令和3(2021)年3月31日
- ・ 支援対象 観光地域づくり法人（DMO）、観光協会、複数の観光事業者により構成された協議会（団体）
- ・ 交付団体数 25団体

(9) Smart Workation Tochigi事業

ア スマートワーケーション推進事業（県委託事業）

Smart（手軽、効率的、賢く）にビジネスも休暇も楽しめるワーケーションの適地として県内の観光振興を図るため、コーディネーター業務（ワーケーションに関する情報の一元化）、PR業務（専用HPや動画、WEB広告による情報発信）を行った。

イ スマートワーケーション利用環境整備事業（県補助事業）

県内に所在する施設（店舗）においてWi-Fi等の整備や専用スペースの確保などワーケーションの利用促進に向けたワーキングスペースの整備を行った場合にその対象経費の一部を補助した。

- ・ 事業時期 令和3(2021)年1月27日～3月24日
- ・ 交付団体数 15社

(10) 国立・国定公園、温泉地でのワーケーション推進事業（環境省補助事業）

栃木県におけるワーケーションプログラムの魅力向上を図るため、各種のニーズ調査（首都圏企業に対するインタビューやWEBアンケートの結果集計）を行った。

2 とちぎ特産品推奨事業

(1) 第20回とちぎ特産品推奨審査委員会の開催

県産品（製造又は加工の最終工程が県内で行われた商品）の中から「とちぎ特産品」を推奨（有効期間3年間）し、認定した「とちぎ特産品」について、当協会のホームページで公開するとともに、「とちぎ特産品ガイド」を発行し、その普及、宣伝に努めた。

- ・ とちぎ特産品審査委員会開催日 令和3(2021)年2月10日
- ・ 申請業者数及び申請品目数 19業者 33品目
- ・ 推奨数 33品目（計169品目）

(2) 県産品流通実践セミナーの開催

県産品関係企業、流通関係企業、商工団体等との連携を強化し、県産品の流通販路の拡張を図るため「県産品流通実践セミナー」を開催した。

- ・ 開催時期 令和2(2020)年11月13日
- ・ 申込者数 14名

3 栃木県のブランド力向上事業

(1) 見本市〔FOODEX JAPAN（全国食品博）〕出展支援（県委託事業）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため栃木県として参加を取り止めた。

- ・ 開催時期 令和3(2021)年3月9日～12日
- ・ 開催場所 千葉市幕張メッセ
- ・ 主催 一般社団法人日本能率協会 等

II 観光及び物産情報の収集・提供事業

1 観光・物産情報発信事業

(1) インターネット事業（県補助事業）

多様な観光・物産需要に対応するため、既存の観光・物産部門のみならず、商工・農林業団体や市町等との連携を図りながら、ホームページ「とちぎ旅ネット」を運営した。

ホームページは、最新の情報を提供し、シーズンの注目情報や画像を多く取り入れながら、多様化する観光客のニーズに応えるべく内容の充実を図った。

- ・ 令和2(2020)年度アクセス数 7,155,262PV（対前年度比102%）
- ・ メールでの問い合わせ件数 292件（対前年度比79%）

内訳：パンフレット請求147件、質問等145件

ア 観光資源・名産品の紹介

観光写真ダウンロードコーナーにおいて、本県の観光資源や名産品の写真の掲示・提供を行った。

- ・ 写真使用申請件数（WEB申請）延べ1,451件（対前年度比341%）

イ 情報の発信

ホームページにおいて、多様化する観光客のニーズに応えるため、各市町、各地区観光協会等から寄せられた情報を基に、シーズン毎の各観光地における注目情報や画像を多く取り入れる等内容の充実を図り、お祭りやイベント、花、紅葉の情報など最新の観光に関わる情報を発信した。

ウ 通訳案内士の紹介

栃木県内の通訳案内士及び栃木県地域限定通訳案内士の紹介をホームページにおいて行った。

(2) インターネット事業（県委託事業）

とちぎ旅ネット内に県が実施するサイクルツーリズムの特集ページを制作し、広く情報の発信を行った。

(3) 観光情報発信事業（県補助事業）

ア 観光情報収集活動

県・市町・各地区観光協会・観光関係業者等から、メール、FAX等により適宜観光情報を収集するとともに、必要に応じ電話や現地に出向き写真撮影等の取材活動を実施した。

イ パブリシティ活動

毎月「観光情報誌」を作成し、東京の記者クラブ定例連絡会（毎月第3火曜日開催）に情報提供を行うとともに、記者クラブ以外のマスコミや旅行エージェント等にも情報提供した。

また、取材の依頼に対しては、最新の観光情報や要望に応じた情報を提供した。

ウ 観光・物産に関する問い合わせへの対応

電話やメール等による多種多様な観光・物産に関する問い合わせに、迅速かつ的確に対応した。

(4) 観光栃木の魅力を創る「女将の会」キャラバン支援事業

本県への誘客促進のため、近県のマスコミ、旅行エージェント等に向け観光キャラバン等を展開する「女将の会」に対し、支援を行った。

- ・ 実施時期及び方面 令和2(2020)年11月25日～26日 宮城県方面

2 「本物の出会い 栃木」観光キャンペーン事業

(1) 「本物の出会い 栃木パスポート」事業（「本物の出会い 栃木」観光プロモーション協議会委託事業）

平成26(2014)年度から継続してきた当事業を令和5(2023)年まで延長し、栃木県を訪れる観光客の方々に、より長く県内に滞在し周遊していただき、更なる誘客促進を図るために、「本物の出会い 栃木パスポート」を発行した。パスポートは、令和3(2021)年2月1日から電子版（アプリ版）に完全移行した。

- ・ 実施期間 令和2(2020)年4月1日～令和5(2023)年3月31日（3年間）

※ 令和3(2021)年3月31日現在

- ・ 参加おもてなし施設 942施設

- ・ パスポート発行冊数（平成26(2014)年度からの累計冊数）
 - ファーストステージ 延べ 524,607 冊
 - セカンドステージ 延べ 27,727 冊（ファーストステージクリア）
 - サードステージ 延べ 16,031 冊（セカンドステージクリア）
 - 全ステージクリア 延べ 9,623 冊（サードステージクリア）
- ・ 電子版パスポート（アプリ版）利用者数 20,222人（累計）
 - 内スタンプ1つ以上捺印ユーザー 7,668人
 - ファーストステージクリア 延べ 637人
 - セカンドステージクリア 延べ 208人
 - サードステージクリア 延べ 99人

(2) 観光キャラバン事業（「本物の出会い 栃木」観光プロモーション協議会委託事業）

県外のマスコミ、旅行エージェント、鉄道会社等に対し、本県への更なる誘客促進に向けた観光キャラバンを実施した。

ア コロナウィルス復興キャラバン

(ア) 東武鉄道本社表敬訪問

- a 実施日 令和2(2020)年10月13日
- b 訪問先 東武鉄道本社
- c 訪問者 新井会長、荻原副会長、八木澤副会長、善林専務理事、赤澤理事、鱒淵観光交流課長（栃木県）

(イ) 東武池袋駅

- a 実施日 令和2(2020)年10月13日
- b 実施場所 東武池袋駅 地下中央西口階段付近
- c 参加団体 栃木県（観光交流課・キャラバン隊）、宇都宮市、那珂川町、とちぎおもてなしメイツ、当協会職員

(ウ) JR大宮駅

- a 実施日 令和2(2020)年10月15日
- b 実施場所 JR大宮駅
- c 参加団体 栃木県（観光交流課・キャラバン隊）、野木町、栃木市観光協会、小山市観光協会、とちぎおもてなしメイツ、当協会職員

(エ) 宇都宮パセオ「栃木県観光スペースin宇都宮パセオ」観光PR

- a 実施期間 令和2(2020)年11月6日～11月30日
- b 実施場所 JR宇都宮駅ビル「宇都宮パセオ」本館2階
- c 参加団体 栃木県（観光交流課・キャラバン隊・国体・障害者スポーツ大会局）、大田原市、那須塩原市、那須烏山市、那須町、小山市観光協会、真岡市観光協会、日光市観光協会、塩原温泉観光協会、下野市観光協会、壬生町観光協会、株式会社ワカヤマファーム（若竹の杜 若山農場）、とちぎ

おもてなしメイツ、当協会職員

イ 「本物の出会い 栃木」観光キャラバン【ふるさと観光展 IN 仙台駅】

(ア) 観光キャラバン

- a 実施日 令和2(2020)年10月6日
- b 訪問先 河北新報社、日本旅行東北、東武トップツアーズ仙台支店、近畿日本ツーリスト東北、JTB仙台支店
- c 参加団体 栃木県(観光交流課)、足利市、小山市、宇都宮観光コンベンション協会、真岡市観光協会、黒磯観光協会、当協会職員

(イ) 第29回ふるさと観光展 IN 仙台駅

- a 実施期間 令和2(2020)年10月7日～9日
- b 実施場所 JR仙台駅2階コンコース
- c 参加団体 とちぎおもてなしメイツ、当協会職員

※新型コロナウイルス感染症の影響によりステージPR中止、パンフレット等の手配りでの配布が自粛となったため、市町・観光協会は不参加

(3) 観光アプリ運営事業(「本物の出会い 栃木」観光プロモーション協議会補助事業)

App Store、Google Play Storeから配信している観光アプリケーション「とち旅 Tochi-tabi」の管理運営を行った。

- ・ダウンロード件数 延べ34,404件

(4) 観光アプリ修正事業(「本物の出会い 栃木」観光プロモーション協議会委託事業)

観光アプリ「とち旅 Tochi-tabi」について、ホームページ「とちぎ旅ネット」と重複する機能の解消を行うための修正を行った。

3 観光宣伝印刷物制作・配布事業(県補助事業)

栃木県の優れた観光資源や見どころなどの情報を網羅した全県マップを作成・配布し、県内各地への誘客促進を図った。

- ・観光地図 A1サイズ(長辺1回折後蛇腹5山)13万5千部

4 観光物産展等開催事業

(1) 県内外から県内各地への誘客促進を図るとともに、県産品の販路拡張を推進するため、県内外の百貨店等を会場として、次の物産展等を開催した。

ア 宇都宮市 東武宇都宮百貨店宇都宮本店

- ・令和2(2020)年6月11日～16日(とちぎモッタイナイ市場)

イ 船橋市 東武百貨店船橋店(県委託事業)

- ・令和2(2020)年8月20日～26日(第23回 栃木・福島の物産と観光展)

ウ 宇都宮市 東武宇都宮百貨店宇都宮本店

- ・令和2(2020)年9月17日～22日(ふるさと栃木の観光と物産展)

- エ 札幌市 さっぽろ東急百貨店（県委託事業）
 - ・ 令和2(2020)年10月1日～6日（全国職人の技展）
- オ 宇都宮市 福田屋百貨店インターパーク店
 - ・ 令和2(2020)年10月20日～26日（関東美味コレクション）
- カ 宇都宮市 福田屋百貨店宇都宮店
 - ・ 令和3(2021)年2月17日～21日（北関東物産展）
- キ 宇都宮市 東武宇都宮百貨店宇都宮本店
 - ・ 令和3(2021)年2月18日～23日（第2回 とちぎモッタイナイ市場）

(2) 食品催事等の開催

- ア 川崎市 イトーヨーカドー武蔵小杉駅前店（県委託事業）
 - ・ 令和2(2020)年9月8日～14日（北関東3県物産観光フェア）
- イ 宇都宮市 アピタ宇都宮店
 - ・ 令和2(2020)年10月8日～13日（栃木フェア）
- ウ 小山市 イオン小山店
 - ・ 令和3(2021)年1月14日～18日（栃木県フェア）

エ その他

栃木県等から紹介された以下の催事・観光イベント等に参加した。

- ・ 「全国土産品コーナー」出品（令和2(2020)年4月1日～令和3(2021)年2月28日：イトーヨーカドー武蔵小杉駅前店）
- ・ 「県庁直売会」開催（令和2(2020)年5月21日：県庁本館1階北側スペース）
- ・ 「はちのへローカルマーケット栃木県フェア」出品（令和2(2020)年7月22日～8月20日：(一財)VISITはちのへおみやげショップ内全国地場産品コーナー）
- ・ 「本物の出会い栃木」夏の観光物産フェアin天神橋筋商店街出品（令和2年8月28日～29日：大阪市天神橋筋商店街）
- ・ 「全国ふるさと観光物産展2020inいずみがおか広場」出品（令和2(2020)年11月6日～7日：大阪府堺市）
- ・ 「天三ワゴン市」出品（令和2(2020)年11月8日：大阪市天神橋筋商店街）
- ・ 「ドアーズハウスイベント栃木企画展」出品（令和2(2020)年12月5日～令和3年(2021)1月12日：大阪市）
- ・ 「県庁生協販売」（令和2(2020)年12月22日：県庁生協イベントコーナー）
- ・ 「ドアーズハウスイベント栃木企画展」出品（令和3(2021)年1月13日～31日：東京都）
- ・ 「阪神百貨店いちごフェア」出品（令和3(2021)年1月28日～2月6日：大阪市阪神百貨店）
- ・ 「とちぎのいちごや」出品（令和3(2021)年2月3日～14日：大阪駅前ディアモール大阪）

5 伝統工芸品普及事業

(1) 常設展示場運営事業（県委託事業）

栃木県指定の伝統工芸品に対する理解と認識を深め、その普及宣伝を図るため、栃木県庁舎15階の「県政展示コーナー」に常設展示し、年1回の展示替及び管理運営を行った。

(2) 栃木県伝統工芸品展開催事業（県委託事業）

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じての開催を模索したが中止となった。

- ・ 開催時期 令和2(2020)年8月8日～9日
- ・ 開催場所 宇都宮市 ショッピングモールベルモール1F

6 栃木県観光物産振興員配置事業（県委託事業）

「とちぎおもてなしメイツ」を活用し、観光振興や県産品の普及宣伝を図った。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により首都圏での活動が制限されたが、特にSNSの活用による本県情報の発信に注力した。

- ・ 採用人員 2名
- ・ 採用期間 令和2(2020)年4月～令和3(2021)年3月

III 観光及び物産関係団体との連絡協調事業

1 観光展参加事業

(1) ふるさと観光展 IN 仙台駅

(公社)日本観光振興協会関東支部が主催する「ふるさと観光展」に共同出展し、宮城県の方々に、秋の関東甲信越静岡の観光情報を提供し、関東甲信越静岡地域への観光客誘致を図った。

※新型コロナウイルス感染症の影響によりステージPR中止、手配りでのパンフレット等の配布が自粛となった。

- ・ 開催期間 令和2(2020)年10月7日～9日
- ・ 開催場所 JR仙台駅(仙台市)

(2) 東武ファンフェスタ

東武鉄道(株)が主催する「東武ファンフェスタ」に参加し、来場者に本県の観光と県産品のPRを行い、観光客の誘致促進を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

- ・ 開催時期 令和2(2020)年12月上旬
- ・ 開催場所 東武鉄道株式会社 南栗橋車両管理区(久喜市)

(3) 誘客促進対策事業

本県への誘客促進に資する事業に、随時対応した。

2 観光関連団体等との連絡協調事業

(1) (公社) 日本観光振興協会連携事業

ア 情報センター事業

(公社) 日本観光振興協会の全国観光情報データベース情報の更新を行い、県内全市町の情報を、(公社) 日本観光振興協会のホームページを通じてマスコミ、旅行エージェント及び一般に広く提供した。

イ 関東ブロック観光宣伝資料作成事業 (関東甲信越静観光協会・連盟協議会)

全国観光広域振興事業の一環として、関東甲信越静の観光ポイントを掲載した観光ガイドブック中国語版 (繁体字) に修正を加え、台北国際旅行博等で配布し、台湾からの誘客促進を図った。

- ・ 冊子名称 MID JAPAN (関東甲信越静広域観光情報誌)
- ・ 作成部数 2,000部

(2) 観光関連団体等との連絡協調

東日本旅客鉄道 (株)、東武鉄道 (株)、(公社) 日本観光振興協会、(一社) 日本温泉協会等をはじめ、県内外の観光及び物産関係団体等と緊密に連絡、協調して本県観光の振興を図った。

(3) 新型コロナウイルス感染症予防対策

明治安田生命保険相互会社宇都宮支社からの寄付金を財源として、アルコール消毒液を希望する市町観光協会に配付した。

IV 外国人旅行者に対する情報提供事業

1 外国人材活用インバウンド推進事業 (県委託事業)

国が新たに創設した「外国人による地方創生支援制度」を活用し、令和元(2019)年度から引き続き、旅行業に精通し即戦力となる外国人材を当協会に配置することにより、現地旅行会社等との連絡調整や、外国人目線から県内観光資源の発掘・PR等を実施するなど効果的な誘客活動を行い、外国人観光客数の一層の増加を図った。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う渡航制限により、海外PR事業が実施困難になったため、海外PR事業の代わりにPR動画配信事業を実施し、YouTubeにて配信した。

- ・ 採用人員 1名
- ・ 採用期間 令和2(2020)年4月～令和3(2021)年3月

2 第28回台北国際旅行博 (ITF2020)

台湾からの観光客の誘致を図るため、関東ブロック広域観光振興事業推進協議会として出展し、本県観光をPRした。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う渡航制限により、職員の派遣は行わず、ブース運営を現地スタッフに委託しパンフレット等を配布した。

- ・ 開催期間 令和2(2020)年10月30日～11月2日
- ・ 開催場所 台湾・台北市南港展覽館

V 観光・物産情報発信施設の運営

1 「おいでよ！とちぎ館」の管理運営

宇都宮市本町合同ビル1階に設置している当協会事務所兼直営店の「おいでよ！とちぎ館」において、観光及び県産品の振興機能の強化及び情報発信・提供を行った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大並びに緊急事態宣言等に伴い、休館や時短での営業対応を行ったほか、ガイドラインに沿った感染防止対策の取り組みに努めた。

(1) おいでよ！とちぎ館の概要

- ・ 店舗面積 102.89㎡
- ・ 出展者 160業者
- ・ 営業時間 午前10時～午後6時（月～金）
午前10時～午後5時（土）※日曜・祝日・年末年始を除く

(2) 利用状況

- ア 入館者数 18,126名（66名/日）
- イ 購入者数 6,205名（23名/日）

(3) その他イベント等

- ア とちぎ農畜産物等スマイルアップ事業「とちぎSmileマルシェ（ECサイト）」に出品し、県産品セットを販売した。（令和2（2020）年8月5日～令和3（2021）年2月28日）
- イ とちぎに泊まろうキャンペーン事業のプレゼント商品について、とちぎ特産品の調達を行った。（令和2（2020）年9月～令和3（2021）年2月）

VI 県産品の販売事業

1 「とちびより」の管理運営

JR宇都宮駅2階、駅ビルパセオ「とちぎグランマルシェ」内に出店している当協会直営店舗の「とちびより」において、県産品の普及・宣伝と販路拡張を推進するため、展示販売を行った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大並びに緊急事態宣言等に伴い、休業や時短での営業対応を行ったほか、ガイドラインに沿った感染防止対策の取り組みに努めた。

(1) とちびよりの概要

- ・ 店舗面積 70.33㎡
- ・ 出展者 100業者
- ・ 営業時間 午前8時～午後9時（年中無休）

(2) 利用状況

- ・ 購入者数 86,071名（252名/日）

(3) 販売事業

ア 県産品の販売

県内で生産加工され若しくは主要な原材料が栃木県産である菓子・地酒・地ビール・

焼酎・工芸品等の特産品を販売するとともに、いちご等の栃木県を代表する農産物を使用した加工品を季節に応じて販売した。

イ 県産品オリジナルセット商品の販売

御中元・御歳暮等の時期に、県産品を詰め合わせた県産品オリジナルセットを作成し販売した。

ウ 物産展への参加及び外売の実施

参加者の多い各種行事開催会場等において、適宜販売コーナーを出店し、県産品の販路拡張、普及宣伝に努めた。

(4) 新規県産品の発掘・紹介

県内市町や地域観光協会、商工団体、当協会の協力団体等と連携を密にして、商品の発掘及び情報の交換に努めた。

VII 日光湯元レストハウス運営事業

日光湯元レストハウスを賃貸し、日光湯元地区の観光誘客促進及び観光客受入れ体制の強化を図った。

事業報告附属明細書

令和2年(2020)年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。